



# 日本海

日々の様子は学校  
ホームページから！



「藤塚小ブログ」は連日更新中！

## 151年の伝統と歴史のある藤塚小学校

～地域・保護者の皆様、本当にありがとうございました～

校長 山田 耕世

151年の伝統と歴史のある藤塚小学校が3月31日で閉校になります。

令和6年11月16日（土）に行われた閉校記念式典の中で、各学年の代表の子どもたちが藤塚小学校の思い出とこれから頑張っていきたいことを発表しました。その中の一部を抜粋します。

- 楽しかったことは、いろいろな学年の人と鬼ごっこをしたことです。給食が終わると6年生や5年生が「遊ぼう」と迎えに来てくれました。3年生や4年生の人も来てくれました。「何がしたい？」「鬼になりたい？」と声をかけてくれました。足が速かったけど、合わせてくれました。優しいなあと思いました。
- 心に残ったことは運動会とマラソン大会です。スタートの「バン！」の音が嫌で遅くなってしまいうけど、みんなが「頑張れ！」と応援してくれたから、最後まで頑張ることができてゴールすることができました。
- 思い出に残っていることは、運動会とマラソン大会です。新しい紫雲寺小学校で頑張りたいことは友だちづくりです。中学校3年生まで一緒になるので早く仲良くなって遊んだり勉強したりしたいです。
- 心に残っていることは、班のみんなで歩いた「なかよし班遠足」です。藤塚小学校しかできない活動でたくさんふれ合えたからです。学年関係なく仲良く活動できたことは、藤塚小学校の素晴らしい伝統だと思います。
- 思い出に残っていることは入学式です。うまくやっていけるか不安だったけど、その時の6年生が優しくしてくれて不安がなくなりました。新しい紫雲寺小学校で頑張りたいことは勉強です。今よりも難しくなると思うので頑張りたいです。
- 藤塚小学校の自慢できることは2つあります。1つ目は活気溢れる挨拶です。生活委員会を中心に元気な挨拶の音が響いています。2つ目は大漁太鼓です。毎日学校や家でたくさん練習して、今では太鼓を楽しく演奏できるようになりました。



他の子どもたちも、藤塚小学校の思い出をたくさんもっているかと思います。子どもたちがたくさん思い出をもつことができたのは、地域・保護者の皆様がいつも温かく見守り、支えてくれたおかげだと考えます。学校が閉校することはとても大きなことです。寂しい気持ちもたくさんありますが、閉校記念式典での代表の子どもたちの発表を聴くと、子どもたちは新しい学校での希望や期待をもち、前に向かっていくと強く感じました。今後もこれまで同様に子どもたちを温かく見守り、支えていただければと思います。

これまで長い間、子どもたちのため、藤塚小学校のためにご尽力いただき、本当にありがとうございました。